

同

琵琶山下結高堂 嘯月以花傾壽觴

福良 赤藤鳥洲

七阪を越てめてたし花の春
老木ほとかをりの深し梅の花
ゆかしさや古来稀なるとしの花
年を経し松や殊更はなのつや
まつ竹に齡ひかさねてとしの花
蓬萊と共に尽せぬよはひかな
内外にめたつはしらや七五三飾
とし毎に色古稀松のみとりかな
七草の香にしられけり空のいろ
まれな幹稀な枝也花の兄
蓬萊に尽せぬ千代のほまれかな
春毎に愛ます古稀の姿かな
たのしみはまた奥あるや花の山
稀といふめてたきとしや君か春
石井より汲若水や幾千とせ
鶴の舞ふ岬の空や日のなかき
小松ひく力も有や君はまた
此先か何処迄あるや花のおく
千代を手に握る翁や小松曳
七草のはやしや千代も同じさま
うめ一木たくひ稀なる色香哉
実を結ふつやの見えけり桃の花
年々に梅の立枝やかをるはな
鶴と亀松と八千代の椿かな
四海波静な春や翁しま
松風も千とせを呼や門の春
根堪へをつほみに見せて冬つはき
こけのむす程香の高し梅の花
麗しく次第に伸る春日かな
世も年も鶴にまかせよ君か春
万才もあやかるとか齡かな
白うめの益ふかき匂ひかな
千代経へき操を松のみとりかな
寿も自然に持てまつの花
七十路はまた蓬萊の禁哉
七分咲て猶咲たせよ冬至梅
名に立し岬の松や千代の春
十返りの幹枝ふりや花の兄

同

由来仙骨非凡骨 況又衛生時得宜

白川 山下切所

守山 可祝

一忝

同

童顔七十狼丹霞 累見蟠桃老着花

若松 生龜松溪

二本松 一娥

糠沢 隈水

若松 水香

同

姪々孫々孫又子 滿堂和氣榮依々

白川姪 友月越信

好文

雲霄

知足

丈山

秀峰

いし女

半窗

松相

桐山

欄壺

里鶴

玉雅

坡石

兔僊

悠直

古東

時嘯

指月

輪鼻

鼻山

香堂

香久

松花

梅雅

竹圃

香器

忠孝